



各 位

2025 年 8 月 15 日

会 社 名 株式会社モンスターラボ
代表者名 代表取締役社長 鮎川 宏樹
(コード：5255、グロース市場)
問合せ先 CFO 鈴木 澄人
(TEL. 03-4455-7243)

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、2025 年 8 月 14 日公表の「2025 年 12 月期 第 2 四半期決算短信〔I F R S〕（連結）」及び「半期報告書」において、これまで記載しておりました「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社グループでは、2023 年 12 月度から 2024 年 12 月度の重要な営業損失、及び営業キャッシュ・フローのマイナスを早急に解消することを目的に実施している組織変革・構造改革の一環として、当該地域に属する各子会社の足元及び将来に渡る採算性を精査し、継続して抜本的なグループ組織再編を実行しておりました。その結果、前連結会計年度において、主にのれん及び固定資産の減損損失 4,320,639 千円を計上し、重要な営業損失及び当期純損失を計上し、2025 年 12 月期第 1 四半期連結累計期間末で 775,015 千円の債務超過となっておりました。そのため、当社は、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められるとして、2024 年 8 月 14 日以降の決算短信等より、「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

その後、当社グループは、2024 年 10 月 7 日付けにて EVO FUND を割当先として発行した第 81 回新株予約権によって 2025 年 12 月第 2 四半期連結会計期間において 2,065 百万円を調達した事に加え、2025 年 6 月 13 日付で開示いたしました「第三者割当による新株式発行に関するお知らせ」のとおり 6 月 30 日に 70 百万円を調達したことによる純資産の増加等によって当第 2 四半期連結累計期間の純資産額は 1,234,807 千円となり債務超過が解消されました。

上記に加え、事業については 2025 年 12 月度第 1 四半期連結会計期間より継続した営業黒字を計上し、引き続き堅調な推移が見込まれることから、こうした状況を総合的に判断し、当中間連結会計期間末において、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は解消したと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしました。

株主、投資家及び取引先の皆様をはじめ、市場関係者並びにステーク・ホルダーの皆様には、ご心配をおかけいたしました。今後とも、当社グループとして更なる業績及び、企業価値向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上